

2019 年度

ブレストケア・ピンクリボンキャンペーン 乳がん検診啓発活動

2019年5月12日の母の日に、乳がん検診の啓発活動として、乳がんに関する知識のパネルやマンモグラフィの展示、グッズ販売、乳がんのモデル型の触診などを行うコーナーに、カープの試合を見に来た観客を呼び込むために、本学で作ったアレルギー対応のクッキーを配り、コーナーに勧誘をする。乳がんの検診受診率が上がるよう、若い人や中年の女性たちに多く声を掛けた。



街道祭りに参加しました!!

5月19日(日)廿日市中央市民センターで開催された街道祭りに学生9名が参加しました。街道祭りは廿日市～吉賀～津和野までの街道につらなる町々が食や芸能等を通じて交流を深めようということで始まっています。山陽女子短期大学も1つブース設け、吉和のルバーブの紹介と産学連携(岡崎教授が関与)で開発された牡蠣醤油の販売を行いました。学生達の熱心な呼び込みと説明で牡蠣醤油を、目標の70%(20本)販売しました。また、もう一つのグループは、古代米で作ったうどんやケーキあるいはジャージー牛乳で作ったアイスクリームの販売の手伝いで、昼食も出来ないほど忙しさでした。主催者の方々からお礼の言葉を頂きました。来年は津和野街道400周年記念の街道祭りとなり、ボランティアとしての参加が期待されています。



2019 年度七夕まつりに参加しました!!

7月6日(土) けん玉商店街の七夕祭りに参加しました。焼き菓子は食物栄養学科の学生だけではなく、臨床検査学科の学生も参加して作りました。当日は4名の学生が、テント張り等の設営の手伝いも行い、17時半からお店を構えました。祭りに来られた大人や子どもに元気よく声をかけ、焼き菓子を販売しました。20時に完売し、笑顔で終わることができました。商店街の方からはまた是非来年も店を出して下さいと要請されました。



佐方夜市夏祭に参加しました!!

7月20日（土）に開催された佐方夜市夏祭りに参加させていただきました。
食物栄養学科の1年生5名と2年生4名で抹茶の渦巻きクッキーとココアクッキーを作成し、販売を行いました。当日は2つのグループに分かれ、積極的に声を出して手作りクッキーのアピールをしました。天候がすぐれず、祭りの終盤には少し雨が降ったりもしましたが、地域の方々に自分たちが作ったクッキーを購入していただくことができ、良い経験となりました。



高齢者のお食事会を行いました!!

7月12日(金)に食物栄養学科 栄養管理コース2年生が廿日市市佐方地区在住の高齢者の方を大学に招待し、食事提供を行いました。今回の献立は、炊き込みご飯、和風ハンバーグ、かぼちゃの煮物、白和え、具沢山つみれ汁、抹茶プリンでした。

提供した食事の内容から高齢者の1日の食事の摂り方等の話や、地域や学校の話をして、年齢の離れた方との交流ができました。

「おいしい」といった声や「普段は一人で食事をしており、このように食事を楽しむことができよかった」、「多くの工夫されたご馳走が食べられてよかった」など、食事について喜ばれている声に加えて、このような場についてもとても満足されていました。



もみじの会

1型糖尿病の子どもたちが、同じ病気の仲間・先輩などふれあい、話し合いを通して糖尿病といかによく付き合っていくかを学び、糖尿病の正しい知識と血糖コントロールに必要な知識・技術を獲得するための、もみじの会 第30回目のサマーキャンプが8月16日（金）～8月20日（火）に行われた。学生5名と一緒に参加する。今回は30回記念ということで、手作りおやつを本学の学生が担当することとなった。アイスクリームを作ることにし、事前に何度か練習をしたので、まずまずの出来だった。また、野外炊飯はバーベキューをしたが、雨が降り屋根のある場所でしたので、狭くて大変だった。また、栄養教室では、小学1～3年生を対象に栄養教育を行った。子どもたちに食品のカードを選ばせ、アクティブラーニングの指導を取り入れ、学生たちにとっても指導方法のよい勉強になったと思う。学校では学べないことを得たと思う。



9月16日佐方地区敬老会にボランティアとして参加しました。!!

参加されたお年寄りの人数は150名程度でした。小・中学校の生徒や自治会の方々と一緒に、準備や当日の手伝いをしました。学生達は、地域の方々や子ども達と話しをする中で、地域のことを知ることができるようになり、コミュニケーション力も培われたようでした。笑顔が人を元気づけることも改めて感じたようです。



「はつかいち環境フェスタ 2019」で水産資源の活用について紹介しました。

10月6日（日）に開催された「はつかいち環境フェスタ 2019」において、本学食物栄養学科は、廿日市近海で漁獲される未利用・低次利用の水産資源（ムール貝、ナマコの内臓、アブライワシ）の有効活用を紹介しました。エキス化、魚醤の試作を行い、来客者に味を評価していただきました。参加者の評価では、うま味を増強したものより無添加のものが好まれていました。これからの研究が地域産業に繋がるよう頑張っていきます。



ひろしまフードフェスティバル 2019 に参加しました!

10月27日(日)広島中央公園にて開催された広島フードフェスティバルで焼き菓子の販売と魚醤の試食アンケートを行いました。前日は雨が降っていましたが当日は天候もよく、客数も多かったです。

今回はJAふるさと広島地産地消村で市内大学のテントで販売しました。食物栄養学科の1年生と2年生が参加し、暑い中元気な声でお客様の呼び込みをしていました。焼き菓子や魚醤の説明も積極的に行っており、終始笑顔で明るい雰囲気でした。



第 29 回廿日市市生涯学習フェスティバルに参加しました!! ーフードモデルとパソコンによる食事バランスチェッカー

11月2日廿日市市庁舎で開催された第29回廿日市市生涯学習フェスティバルに食物栄養学科教員1名と学生4名が参加した。食育SATシステムによる食事バランスチェックを行った。バランスチェック結果のプリントアウトと、学生による簡単な解説をその場で行った。例年日曜日に出版しているところ、今年は初めて土曜日に出展した。市庁舎入口から斜め真正面、階段を挟んだステージ横のとても良い場所だった。バランスチェック体験者は140名（昨年80名、一昨年190名）程度であった。



五師会あいプラザまつりに参加しました!!

11月3日廿日市市総合健康福祉センターで開催された五師会あいプラザまつりに食物栄養学科教員1名と学生2名が参加しました。市民に健康に関するクイズを解いていただく。参加賞として、業者から提供していただいたお土産をわたす。答を確認し、違っている所は解説をする。男性22人、女性90人、計112人、平均年齢は男性40.2歳、女性54.9歳であった。下は5歳から上は92歳と幅広い年代にクイズへ参加していただいた。しかし、例年に比べて参加者が少なかった。食に関する事なので、女性の方に参加者が多かった。親子連れで問題に挑戦していただき、子どもの方が正解するという場面のあり、小学校での食育の効果が見えた。



「さがたっこひろば」に参加しました!!

11/16（土）に佐方市民センターで行われた「さがたっこひろば」に食物栄養学科栄養調理コース2年生3名、1年生3名が参加させていただきました。佐方地区の小学生20名と一緒にシュウマイ・中華どんぶり・スープを作りました。

いつもは教わる立場の学生ですが、この日は小学生に教える立場となり、教えることの難しさを感じたようです。学生自身もはじめのうちは緊張していましたが、次第に小学生とも打ち解け、笑顔で取り組んでいました。



佐方花いっぱい運動、子ども餅つき大会に参加しました!!

11月16日佐方花いっぱい運動に学生4名が参加し、佐方のJR沿線付近の道路にある花壇に地域の方々や子ども達と一緒に花を植えました。

また11月23日には佐方八幡神社の境内で行われた子ども餅つき大会に学生11名が参加しました。餅を丸めたり、お汁粉を作って配膳したり、参加者に振る舞ったりしました。子ども達も多く参加し境内が溢れるくらいでした。子ども達とふれあい、また地域の方々と話しができてとても楽しかったです。



桶寿司講習会を開催!!

12月6日（金）に郷土文化研究会（正木（康）、吉岡、大塚、正木）、廿日市市商工会議所女性会（水本）様（合計5名）ご協力のもと、廿日市市に伝わる「桶寿司」のつくり方を教えていただきながら作った。重石をのせて漬け込む合間によもぎ餅も作った。

桶寿司とは何か、桶寿司を復活させたときのいきさつなどを聞き、談笑しながら出来上がった桶寿司をいただいた。



佐方とんど祭に参加しました!!

佐方とんど祭りが1月12日(土)にあり、食物栄養学科6名の学生がボランティアとして参加しました。午前中は小学校の調理室で自治会の方々と豚汁やお汁粉の準備を行い、午後は販売など諸々の手伝いを行った。地域の方々とたくさん話しをし、楽しみながらボランティア活動を行っていた。多くの自治会の方々から、有難うございます、助かっていますとお礼があった

